

当日配布資料

国内有数の豪雪地帯で、中山間地で、
なおかつ地方都市の信越県境。

少子高齢化、雪山離れ…

課題はあれども、

悩みの豪雪が

無二のスノーリゾートを

生み出すように

課題は、磨けば光る

魅力の原石でもあるのです。

よく似たおとなりのまちは、

どうやって

原石をみつけ、

磨いたのでしょうか。

そこで、おとなりのまちを、

ちよつと拝見。

ひとと知恵を紡いで、

明日の信越県境を

もつと楽しくしませんか。

まなぶ・つながる・はじまる

信越県境 地域づくり交流会 2016

日時・会場 | 平成 28 年 2 月 16 日(火)-17 日(水)

16 日(火) 13:30-17:30 トークセッション

ユートピアくびき希望館 (上越市頸城区百間町 716)

16 日(火) 18:00-20:00 交流会

17 日(水) 9:00-11:15 ディスカッション

うみてらす名立 (上越市名立区名立大町 4280-1)

定員 | 100 人 (先着順)

参加費 | 無料 (交流会費・宿泊費は実費)

主催 | 上越市創造行政研究所

後援 | 国立大学法人信州大学地域戦略センター、新潟県、地域づくりネットワーク
長野県協議会、一般社団法人雪国観光圏、J-ホールディングス株式会社

*本イベントは、文部科学省共同利用・共同研究拠点「越境地域政策研究拠点」に基づく事業として、愛知大学三遠南信地域連携研究センターとの共催により行います。

プログラム

2/16 火
13:30～

開会・趣旨説明

くびき希望館 多目的ホール

トークセッション 「地域づくりの活動事例に学ぶ」

くびき希望館
第2・第3会議室

4つのテーマを切り口に、このエリアで地域づくりを実践する人々が活動紹介をし、将来展望を語り合います。参加者の学びの機会としつつ、今後の交流・連携に向けたきっかけづくりとします。

13:50～
15:20

I 地域資源の発掘と魅力発信

第3会議室

この地域には、この地ならではの豊かな自然環境や歴史・文化が存在する。これらの地域資源にフォーカスし、現代の暮らしと融合させ、その魅力を発信していく取り組みから、地域づくりのポイントを学ぶ。

スピーカー

- 上野 迪音さん（高田世界館、上越市）
- 樋口 道子さん（大地の芸術祭こへび隊、十日町市）
- フジノ ケンさん（株式会社4CYCLE、津南町）
- 牧野 公一さん（映像ディレクター、飯山市）

モデレーター（司会進行）

- 新 雄太さん（信州大学地域戦略センター、長野市）

II グリーンツーリズムの これまでとこれから

第2会議室

この地域では、グリーンツーリズム（農山村での体験型旅行）を都会の人々に提供する取り組みが様々な方法で行われてきた。これらの実績から地域づくりのポイントを学ぶとともに、全国的にも取り組みが進む中での将来像を考える。

スピーカー

- 浅原 武志さん
（信濃町役場／長野県森林セラピー連絡協議会、信濃町）
- 小林 美佐子さん
（雪だるま財団／越後田舎体験推進協議会、上越市）
- 若井 明夫さん（貸民家みらい、十日町市）

モデレーター

- 木村 宏さん（NPO信越トレイルクラブ、飯山市）

15:40～
17:10

III 田舎ならではの 魅力的なライフスタイルの実践

第3会議室

この地域には、積極的に田舎暮らしを選択し、魅力的なライフスタイルを実践し、発信する人々が増えている。このような人々の思いや取組に学びつつ、この動きを持続可能な地域づくりにつなげていく方法を考える。

スピーカー

- 池田 史子さん（山ノ家、十日町市）
- 小林 輝紀さん
（ブリヂストンアンカー サイクリングチーム、飯山市）
- 多田 朋孔さん（NPO十日町地域おこし実行委員会、十日町市）
- 田村 香さん（ナナシのマルシェ、南魚沼市）
- 村越 洋一さん（村シェフ・妙高市議会議員、妙高市）

モデレーター

当日発表

IV 観光分野における 新たな組織経営の挑戦

第2会議室

この地域では、観光振興や交流促進のために民間的要素と行政的要素を兼ね備えた組織づくりが行われてきた。民間と行政の特性を理解し、経営と地域づくりを両立させ、人材の確保や育成につなげていくためのポイントを学ぶ。

スピーカー

- 伊藤 利彦さん
（J-ホールディングス株式会社、上越市）
- 柴田 さほりさん
（信州いいやま観光局、飯山市）
- 原 蜜さん（NPO越後妻有里山協働機構、十日町市）
桑原 信之さん（北越急行株式会社、十日町市）

モデレーター

- 井口 智裕さん（雪国観光圏、湯沢町）

17:15～

事務連絡 *終了後、交流会場へ移動

多目的ホール

18:00～
20:00

交流会

うみでらす名立

2/17 水
9:00～

ディスカッション 「信越県境の地域特性と交流・連携の可能性」

うみでらす名立

各トークセッションの内容を振り返りつつ、このエリア内の魅力と課題、類似点と相違点などを共有し、今後の地域づくり人材の学び合いや交流・連携の可能性について、参加者同士で考えます。

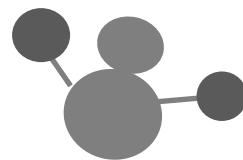
【アドバイザー】戸田 敏行さん（愛知大学三遠南信地域連携研究センター長・地域政策学部教授）

11:00～

総括・閉会

×

≡



地域資源の発掘と魅力発信

この地域には、この地ならではの豊かな自然環境や歴史・文化が存在する。これらの地域資源にフォーカスし、現代の暮らしと融合させ、その魅力を発信していく取組みから、地域づくりのポイントを学ぶ。

16 (火) 13:50~15:20

ユートピアくびき希望館 第3会議室

スピーカー

上野 迪音さん
Ueno Michinari

(上越市)

高田世界館 支配人

昭和 62 (1987) 年上越市生まれ。横浜国立大学で映画論を専攻。大学院時代に日本最古級の現役映画館である「高田世界館」で映画の上映会を開催したことが縁となり、平成 26 年から唯一の常駐スタッフに。現在、映画館の企画運営から、事務、メンテナンス、告知 PR 活動など様々な業務に取り組む。古い町並みが残る旧市街地に立地する映画館をまちづくりの中心的な拠点として盛り上げるべく、映画上映だけに留まらない多様な活動を展開中。

樋口 道子さん
Higuchi Michiko

(十日町市)

大地の芸術祭こへび隊・プラチナ倶楽部
ひとサポ「心と心プロジェクト」代表

昭和 21 (1946) 年小千谷市生まれ。織物の産地問屋に嫁ぎ、十日町市民に。現在、十日町観光ガイドの会、大地の芸術祭こへび隊のメンバーとして、大地の芸術祭をはじめとする十日町市の観光振興に携わる。また、「おかあの台所 ZIKKA」にて家庭料理づくりに腕を振るうほか、きものパーティーの主催、市民活動ネットワーク「ひとサポ」幹事として東日本大震災ボランティア活動に携わるなど活動は多岐にわたる。

牧野 公一さん
Makino Kouichi

(飯山市)

映像ディレクター

昭和 55 (1980) 年大阪生まれ。幼少期より斑尾高原で育ち、現在も斑尾高原を拠点に映像を制作。スノーボード全日本メンバーとして活動経験を持ち、その後プログラマーとして就職。後に Web デザインを軸にクリエイティブ業で独立。趣味で制作した映像をインターネットで配信したことをきっかけに業務が一変、現在は映像制作が業務の 80%以上を占める。アウトドアスポーツ・アクティビティに関連する映像制作を得意とし、大手メーカーの CM から地域観光プロモーション映像までを手がける。気持ちの伝わる映像制作を心がけている。

フジノ ケンさん
Fujino Ken

(津南町)

株式会社 4CYCLE クリエイティブディレクター
一般社団法人雪国観光圏 ブランドマネージャー

昭和 44 (1969) 年生まれ。(株)読売広告社クリエイティブ局勤務を経て、平成 19 年に独立し、津南町に移住。平成 20 年に(株)4CYCLE を設立。新潟県津南町を拠点に活動しながら、地域から世界へ発信できる地域ブランドや環境ブランドの育成を目指してコミュニケーション・デザイン全般のクリエイティブな業務に関わる。“半農半広告”なライフスタイルを実験中。主な受賞歴に、ACC CM FESTIVAL シルバー、アジア太平洋広告祭ブロンズ、東京インタラクティブアワード銅賞などがある。



モデレーター

新 雄太さん
Shin Yuuta

(長野市)

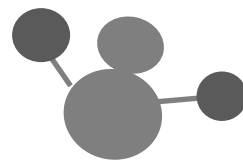
信州大学地域戦略センター 研究員

昭和 57 (1982) 年神奈川県生まれ。スイス連邦工科大学留学後、2009 年東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修了。スイスのコンラディン・クラフアウト建築設計事務所にて勤務後、結婚を機に信州へ移住し、2014 年から現職。専門は、建築設計・意匠・近現代建築史。里山の有用の長物「集落トマソン」研究、長野市耕作放棄地における「ソルガムきび」活用調査共同研究、大町市街地における「空き不動産」活用モデル調査研究、人材育成講座「地域戦略プロフェSSIONAL・ゼミー中山間地域の未来学」など多数の地域連携プロジェクトを率いている。



×

≡



2

グリーン
ツーリズム

グリーンツーリズムのこれまでとこれから

この地域では、グリーンツーリズムを都会の人々に提供する取組みが様々な方法で行われてきた。これらの実績から地域づくりのポイントを学ぶとともに、全国的にも取組みが進む中での将来像を考える。

16 (火) 13:50~15:20

ユートピアくびき希望館 第2会議室

スピーカー

小林 美佐子さん

Kobayashi Misako

(上越市)

公益社団法人雪だるま財団 理事長
越後田舎体験推進協議会 事務局長

上越市安塚区生まれ。高校卒業後、2年間東京で勤めた後、Uターン。時を経て平成3年、雪だるま財団に入社。平成4年に旧東頸城郡6町村で設置した広域まちづくり委員会の事務局を担当。平成10年、越後田舎体験事業の立ち上げから事務局として関わり、企画のコーディネーター役(手配・連絡・調整・精算)を行う。平成23年8月に公益財団法人に移行後、財団理事長に就任。



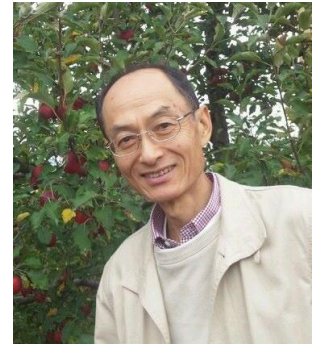
若井 明夫さん

Wakai Akio

(十日町市)

貸民家みらい
有限会社ワカイ測量 代表

昭和23(1948)年十日町市松代生まれ。地元高校を卒業後3年間出稼ぎを経験、その後東京の設計事務所で働きながら行政書士や二級建築士などの資格を取得。結婚後、帰郷して測量事務所を開設。平成9年、古民家を改築した貸民家を開設、都市住民の農業体験や長期滞在の場として提供。米・大豆などの有機農業や、味噌・どぶろく(構造改革特区第1号)・甘酒などの生産も行うほか、大地の芸術祭を運営するNPO法人の代表理事でもある。



浅原 武志さん

Asahara Takeshi

(信濃町)

長野県森林セラピー連絡協議会 アドバイザー
信濃町役場

昭和52(1977)年信濃町生まれ。金沢工業大学経営工学科を卒業後、システムエンジニアを経て、信濃町役場に入庁。癒しの森事業の立ち上げを担当し、企業と山村地域の保養協定に40社近く成功し、山村の活性化モデルを創生する。林野庁山村再生支援センターマッチングアドバイザーを歴任後、長野県に出向して東京事務所に3年間勤務。長野県と成城学園の包括協定もまとめ、現在は、信濃町役場に戻り農政の担当を行う傍ら、長野県森林セラピー連絡協議会アドバイザー兼務。



モデレータ

木村 宏さん

Kimura Hiroshi

(飯山市)

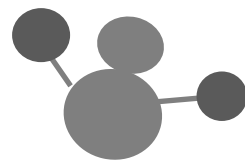
NPO法人信越トレイルクラブ 理事
北海道大学観光学高等研究センター 客員教授

昭和36(1961)年東京都生まれ。日本大学文理学部ドイツ文学科卒業。東京のホテルリゾート開発会社の勤務の後、斑尾高原でのペンション経営等を経て、平成9年に飯山市振興公社入社、なべくら高原・森の家支配人。兼ねて平成15年にNPO法人信越トレイルクラブ事務局長となり、信越トレイルの立ち上げや運営に関わるほか、道の駅や日帰り温泉施設の運営などにも携わる。平成22年から振興公社が信州いいやま観光局へ経営統合したことに伴い、着地型旅行商品の開発・販売、情報発信、人材育成事業等を推進し、平成25年から飯山駅観光交流センター長。平成27年から北海道大学。



×

≡



スピーカー

田村 香さん

Tamura Kaoru

(南魚沼市)

露店市「ナナシのマルシェ」 代表
手焙煎コーヒー&雑貨の移動販売「ケロケロ」 経営

29歳の頃、都会の息苦しさから逃れようと湯沢のスキー場で住み込みアルバイト、そこで雪国の春に感動して移住を決意。間もなく結婚。出産後、生活の為に就職。その後、あくせく働く毎日に、都会以上に息苦しさを感ずることに気付く。環境や安全を考え、電気に頼りすぎない暮らしを工夫する活動への参加をきっかけに持続可能な暮らしがしたいと思うように。お金の頼りきっている生活を、お金の支配されない生活にシフトさせたいと思い、現在に至る。



多田 朋孔さん

Tada Tomoyoshi

(十日町市)

NPO法人十日町市地域おこし実行委員会
理事・事務局長

昭和53(1978)年大阪市生まれ。京都大学文学部卒業。専攻は考古学、第44代京都大学応援団団長を務める。卒業後は経営コンサルティング会社等を経て、平成22年地域おこし協力隊として、妻と子供を連れて十日町市池谷集落に移住。十日町市地域おこし実行委員会をNPO法人化し、現在は事務局長を務める。地域サポート人アドバイザー、農山漁村活性化支援人材バンク、地域人材ネットなどに登録。



村越 洋一さん

Murakoshi Youichi

(妙高市)

村シェフ / 妙高市議会議員

昭和37(1962)年妙高市生まれ。昭和56年、東京都内のホテルオークラに入社、その後新井駅前にある家業のレストランを継ぐ。平成15年から上越情報ビジネス専門学校でIT系非常勤講師を務める。土器づくりをきっかけに本格的な陶芸を始め、平成22年に小濁窯を築窯。現在、地域づくりの市民活動団体として中山間地に拠点を置きながら、妙高市議会議員として活動中。



小林 輝紀さん

Kobayashi Teruki

(飯山市)

BRIDGESTONE ANCHOR Cycling Team 監督
(ブリジストンアンカー サイクリングチーム)

昭和43(1968)年飯山市生まれ。学生時代は国内外のレースを巡り、社会人になってからは山岳トレイルに取りつかれる。平成26年より現職。ジャパンナショナルチームスタッフ。地元ロードレース大会のオーガナイズや、後継者育成、インストラクターなど、飯山を拠点に自転車とアウトドアスポーツ振興を行う一方、ドイツKlasmann社の日本技術駐在として日本国内の農業振興に携わる。地域の区長も務める。



池田 史子さん

Ikeda Fumiko

(十日町市)

山ノ家(カフェ&ドミトリー)
gift_ クリエイティブ・ディレクター

東京都生まれ。平成17年からクリエイティブユニット「gift_」として東京・恵比寿で活動開始。プロジェクトの立ち上げや企画制作、スタイリング等を手がけ、広い意味での「場づくり・状況づくり」の企画と実践を行っている。平成24年、縁あって新潟・十日町松代に「山ノ家カフェ&ドミトリー」をオープン。その後東京の拠点を清澄白河に移し「gift_lab GARAGE」をオープン。現在はこの2拠点でのダブルローカルライフを実践中。



田舎ならではの魅力的なライフスタイルの実践

この地域には、積極的に田舎暮らしを選択し、魅力的なライフスタイルを実践し、発信する人々が増えている。このような人々の思いや取組みに学びつつ、この動きを持続可能な地域づくりにつなげていく方法を考える。

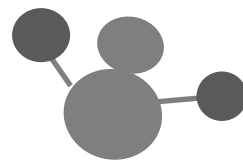
16(火) 15:40~17:10

ユートピアくびき希望館 第3会議室

モデレータ 当日発表

×

≡



4

観光組織
経営

観光分野における新たな組織経営の挑戦

この地域では、観光振興や交流促進のために民間的要素と行政的要素を兼ね備えた組織づくりが行われてきた。民間と行政の特性を理解し、経営と地域づくりを両立させ、人材の確保や育成につなげていくためのポイントを学ぶ。

16 (火) 15:40~17:10

ユートピアくびき希望館 第2会議室

スピーカー

柴田 さほりさん
Shibata Sahori

(飯山市)

一般社団法人信州いいやま観光局 営業企画課課長補佐

昭和 53 (1978) 年 名古屋市生まれ。京都府立大学福祉社会学部卒業。名古屋大学留学生センターにて勤務後、国際こども村にボランティアリーダーとして参加。世界中の子供たちとの生活をとおして平和教育に携わる。その後、ワーキングホリデーにてフランス滞在。帰国後、インバウンド専門の旅行会社にて営業業務に携わる。平成 22 年から農林水産省「田舎で働き隊」研修生として飯山へ移住。信州いいやま観光局・なべくら高原・森の家勤務開始。平成 25 年から現課。

桑原 信之さん
Kuwabara Nobuyuki

(十日町市)

北越急行株式会社
営業企画課課長代理 兼 十日町駅長

昭和 41 (1966) 年南魚沼市生まれ。北海道教育大学教育学部釧路校卒業後、地元の農業協同組合、電子部品会社を経て、平成 8 年北越急行株式会社入社。総務部総務課に配属され、翌年のほくほく線開業を迎える。その後六日町運輸区主任運転士、北越急行プロパー社員の第 1 期運転士となる。平成 20 年、六日町運輸区助役となり、運転士の教育指導や運転業務管理を行う。平成 26 年から現職。趣味はテニス、スキー、少林寺拳法。

原 蜜さん
Hara Mitsu

(十日町市)

NPO法人 越後妻有里山協働機構
株式会社アートフロントギャラリー

昭和 48 (1973) 年上越市生まれ。北川フラム会長がアートディレクターを務める「越後妻有大地の芸術祭」に関わる。主にそれぞれの地域の集落、アーティストやボランティアスタッフなど、異なる背景を持った人々が関わる現場での業務に携わる。このほか、株式会社アートフロントギャラリーでは、様々なアートのコーディネート業を行う同社のソフト事業部に所属し、「瀬戸内国際芸術祭」などにも関わる。

伊藤 利彦さん
Itoh Toshihiko

(上越市)

J-ホールディングス株式会社 代表取締役社長

昭和 20 (1945) 年上越市生まれ。高田高校、東京大学経済学部卒業後、(株)三和銀行入行。PBS社(マレーシア)取締役副社長、(株)三和オーストラリア社取締役副社長、(株)三和銀行吉祥寺支店長、秋葉原支店長を経て、(株)JCBトラベル代表取締役副社長。平成 25 年、上越市第 3 セクター持株会社「J-ホールディングス(株)」の設立に伴い、公募により代表取締役社長に就任。傘下 7 社の経営改善や人材育成などを手がける。



モデレータ

井口 智裕さん
Iguchi Tomohiro

(湯沢町)

一般社団法人雪国観光圏 代表理事
株式会社いせん 代表取締役

昭和 48 (1973) 年湯沢町生まれ。東ワシントン大学経営学部マーケティング科卒業後、平成 8 年に家業である湯沢ビューホテルいせん入社、平成 17 年に 4 代目社長に就任し、「越後湯澤 HATAGO 井仙」としてリニューアル。自社の経営改革に取り組むとともに、平成 20 年に周辺 7 市町村で構成する「雪国観光圏」、平成 23 年に雪国食文化研究所を立ち上げ、代表に就任。平成 25 年に一般社団法人雪国観光圏を設立し、代表理事に就任。着地型旅行商品や雪国 A 級グルメのほか、観光品質認証制度などを企画開発。著書に「ユキマロゲ経営理論」。



×

≡

